

男女共同参画 in パレア マインドアップセミナー①
**「若い世代・女性の政治参加の
 必要性と課題」**
 ～当事者の声を政治の場へ～



一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN代表理事
 FIFTYS PROJECT代表

能條 桃子さん

1998年神奈川県平塚市生まれ。小学校6年生で神奈川県平塚市青少年議会に参加し、女性市長の存在に感銘を受ける。慶應義塾大学経済学部在学中にデンマークに留学。「わたしたちが生きる社会はわたしたちが作る」ことを目標に掲げ、政治分野でのジェンダー平等や若者の投票率向上の活動を行っている。

「次世代の100人」に選出されるなど、その活動が国内外で注目される能條さん。大学在学中に留学したデンマークで、若者の日常に政治や選挙が身近に入り込んでいることを肌で感じました。「若い政治家が声を上げて動けば、政治を変えられることを学んだ。政治家と有権者は鏡の関係。社会はわたしたちが作っている」という感覚を持つ

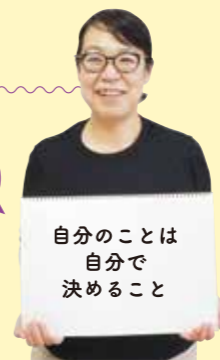
わたしたちが生きる社会はわたしたちがつくる
 2022年に米国TIME誌の「次世代の100人」に選出されるなど、その活動が国内外で注目される能條さん。大学在学中に留学したデンマークで、若者の日常に政治や選挙が身近に入り込んでいることを肌で感じました。「若い政治家が声を上げて動けば、政治を変えられることを学んだ。政治家と有権者は鏡の関係。社会はわたしたちが作っている」という感覚を持つ

ことが大切」という気付きが現在の活動につながっていると言います。
 4月の統一地方選挙では、熊本で過去最高の5人の女性が出選しましたが、能條さんが代表を務めるFIFTYS PROJECTでも「政治分野のジェンダー不平等、わたしたちの世代で解消を」という目標を掲げ、20代、30代の女性の立候補を支援。全国で24人が当選した一方で、立候補者や支援者を取り巻く環境によってさまざまな困難があったとも。現在は、若い世代の投票率を上げるための活動を行っているそうです。

参加者からの質疑応答では「地方選挙は選挙を支える人の顔ぶれが変わらないといけない。一緒に考えていきましょう」と話した能條さん。女性や若者の政治参画を考える機会となりました。

大人になっても
 情報のアップデートを

RHRとは？



熊本大学生命科学研究部
 看護学分野健康科学講座
 教授 跡上 富美さん

妊娠前の男女の健康管理の大切さを伝える「プレコンセプションケア」について研究しています。若い世代が自ら健康管理できることは、生涯にわたって質の高い生活を送ることにつながります。そのベースとなる考え方が、リプロダクティブ・ヘルス・アンド・ライツ(RHR)です。そのためにも、ある程度の年齢になれば、自分の体のことは自分で決めるという意識を持ち、いろいろな情報の中から自分で選んで管理することが大切です。ただし、迷ったり困ったりしたときには、自分たちだけで問題を解決し

ようとせず、信頼できる人に相談を。話をしやすい、かかりつけ医を持つこともお勧めです。RHRは年齢にかかわらず、男性も女性も一生お付き合いしていくものです。大人になっても情報をアップデートしながら、次の世代を支えていくようにしたいですね。



幼児期から自分が大事という
 気持ちを育てましょう

RHRとは？



NPO法人
 せいしとらんし熊本
 代表 中村 和可子さん

幼児から大人を対象に「人権安全・健康・コミュニケーション」の4つの軸で、性について伝える活動を行っています。性教育というと、月経や射精、性感症など、体の仕組みや現象をイメージされる方も多いかもしれませんが、もちろんそれらも大事ですが、まず自分の大切さを実感できないことには、相手に思いやりの気持ちを持つことはできません。このため私たちは、人としての関わり(コミュニケーション)を大切にしながら、包括的な性教育に力を入れています。なかでも幼児期は、自分が大事という気



パレアで開催されたワークショップ「自分の体を知ろう」。体の仕組みや男女の違いを知ること、「自分の体ってすごいだ！」と思えるという

持ちが育つ時期。お風呂でお子さんの体を洗う時に、声かけしてから洗い始めてはいかげんかでしょうか。そうすることで、自分の体を大事にされているという実感が持てるようになりそうです。

cover coordination

今回の表紙に登場したのは



必由館高校では令和2年度、生徒主体で設置された校則検討委員会のなかで、制服に関する要望が多かったことから導入の検討がスタート。気温差にも対応しやすい機能的なデザイン・生地。多様性や防犯面にも配慮し、全生徒へのスラックスの導入を決めました。さらに今年度からは男女同型のポロシャツも導入。動きやすく、アイロンも不要なこともあって、1年生の着用率は50%を超えたそうです。

多様性を配慮した
 制服を導入
 熊本市立必由館高等学校

男女共同参画 in パレア **ロビー展**



パレア9Fロビー(右)宇城市役所1Fロビー(左上)御船町役場1Fロビー(左下)で実施

パレアほか、県内10カ所で開催！
 毎年6月23日～29日は男女共同参画週間。今年のテーマは、「無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来」。パレアのほか、県内10市町村が共同開催で男女共同参画に関する啓発やクイズのパネル展を実施しました。庁舎をはじめ、図書館や郵便局などにも設置され、より多くの人たちにパネルを見ていただくことができました。